

農事組合法人 かなん

～なにわの伝統野菜を核にした多品目周年生産の展開～
(平成19年度優良活動表彰 農林水産大臣賞)

代表者: 代表理事 久門 明郎

所在地: 大阪府

構成員: 生産者 112名

活動開始年月日: 平成16年4月



毛馬胡瓜(右)
勝間南瓜(左下)
玉造黒門越瓜(左上)

取組内容

1 直売所を中心とした、多品目周年生産の展開

- 平成14年から毎週末実施されていた「ふれあい朝市」の出荷者が母体となって平成16年4月「農事組合法人かなん」を設立。「かなん」は、河南町から「道の駅かなん・町農村活性化センター」の管理運営を委託され、活動を実施しています。



- 府、JA、種苗会社等の協力を得て、部会ごとに栽培技術講習会を実施し、多品目化を推進しています。
- 標高差(60m～400m)を利用しての周年出荷を実現しています。
- 農薬使用履歴記帳を徹底するほか、「大阪エコ農産物認証制度」にもとづく、減農薬・減化学肥料栽培を推進しています。



なにわの伝統野菜フェア

- 毛馬きゅうり、田辺大根等のなにわの伝統野菜、特産品のいちじく、新米、花・植木等のフェアを開催し、生産者と消費者の交流を深めるためにイベントを毎月開催することを目指しています。

2 農産加工等への取組

- 加工品のうち人気商品としては、米粉パンと餅。その他、味噌やジャム(みかん、いちご、梅、いちじく)を製造。味噌は学校給食に年間を通して供給。加工品の製造開始により、19名の女性の雇用を創出しています。
- 地場産の野菜等を利用した「道の駅弁当」を開発、販売。材料は100%かなん産です。



米粉パンは地場産米を製粉し、旬の野菜をトッピング

3 学校給食への取組

- 15～17品目の地場農産物を小学校5校、幼稚園2園の1,250人分に供給しています。
- 大阪市内の幼稚園、小学校に出向き、学校農園において栽培指導を行うほか、幼稚園児と保護者が参加して農作業を体験する、ふれ合い農園を開催しています。



幼稚園児が収穫体験

<最近の取組>

- 援農ボランティアを育成し、遊休農地の解消に取り組んでいます。

農事組合法人 かなん

- 所在地:大阪府南河内郡河南町神山523番地の1
道の駅「かなん」
- TEL:0721-90-3911
- 営業時間:月～金曜日 午前9時～午後5時
土・日曜日、祝日 午前8時30分～午後4時
- URL:<http://www.michieki.jp/kanan/>



援農ボランティアがタマネギの定植